

きのせ明子

県政レポート

草津養護学校の超過密化の解消を！

障害のある子どもたちが、その障害にに応じて発達が保障され、仲間とともに社会自立していくまでを支える教育機関として、養護学校の役割は重要です。

全国同様、滋賀県でも環境の整った養護学校へ、入学を希望する児童生徒数が増え続ける一方で、県の養護学校施設整備は追いつかず、子どもたちの成長にさまざまな支障をきたしています。大津市在住の児童生徒の多くが通う草津養護学校に、その実態を聞きにいきました。

(写真：10台の大型バスと福祉事業者の送迎車、迎えのマイカーで込み合う草津養護学校の下校風景)



社会自立する力をつけたいのに

特別教室 体育館・音楽室などが足りない

草津養護学校は、設立時の児童生徒数103人から364人へと、3.5倍に増加してきました。増加のたびに教室（ホームルーム）が増築され、廊下は迷路のよう、それでも教室は足りず、特に体育館や音楽室、木工室やパソコン室など特別教室は増築されず、授業に支障をきたしています。お話しを伺った教頭先生は「就職できてもさまざまな理由でつまづき離職することがある。仮につまづいても、やりにおせる力をつけてやりたい。特に高等部の3年間は社会自立の力をつけてやりたいのに、それをすすめるハード面（特別教室）が確保できない」との話は身につきませんでした。

(写真：5分刻みの時刻表にびっしりと埋まる学級の体育のスケジュール)



日本共産党地方議員団 対県交渉5月18日

天津市南部に養護学校の新設を！

県内の日本共産党地方議員団は、「養護学校の超過密化をこれ以上放置すべきでなく、教育環境を改善するためには、特に大津市南部・湖南地域での新設は喫緊の課題であり、早急に具体化するべき」と要求。県教育委員会は「中・長期的な展望」として「小・中学校への分教室の設置など研究している」として、保護者や教員の願う分離・新設に背を向け続けています。引き続き、世論と運動を強め実現のために総力をあげていきます。

8月21日には政府交渉を予定しており、私も参加します。児童生徒や保護者、教員の方々のご意見や実態を集め改善を求めます。養護学校が超過密化となるのは、養護学校には施設設置基準がないためです。政府交渉では、児童生徒の発達を保障する基準をつくることを求めています。

基準違反のブロック塀の総点検と

早急な対応を求め現場視察

大阪北部地震で小学校のブロック塀が倒壊し児童が犠牲になるという痛ましい事故がございました。震災で犠牲になられた方々に心からお悔やみ申し上げます。

6月25日には、滋賀県教育委員会が実施したブロック塀等の緊急点検の結果を公表。27日、節木みちよ県議とともに、堅田、膳所高校を視察し、学校関係者から話を聞きしました。堅田高校では、テスコートに隣接する壁打ち練習用のブロック塀が規定の高さ2.2mを超えた2.8mで、ひび割れが生じ、立入禁止となっていました。



今回の緊急点検は、学校関係者による調査です。早急に、県が責任をもって総点検をし、迅速に対応するよう求めました。県は7月県議会で、堅田、膳所高校を含む県立学校21校で、危険なブロック塀の撤去・補修・代替え措置することを決めました。

その他、道路に面した個人所有ブロック塀の点検と撤去などの安全対策も急がれます。そのための財政支援など引きつづき求めていきます。

6月24日投票の県議補欠選挙

きのせ明子へご支援いただいた皆さんへ

皆様のご支援に心から感謝申し上げます。今回の選挙は、大津市で1議席をめぐる選挙だからこそ安倍政治退場の審判を下そう、と訴えました。街頭や家中から、「市民をバカにする安倍が許せない」「安倍政権を本当に倒してくれ」との声がどんどん寄せられました。それだけに、期待にこたえられず残念です。国会では、安倍政権が国民多数の世論と野党の追及にまともに応えず、審議未了で廃案になるべき、残業代ゼロ法案、カジノ解禁法案、など悪法をゴリ押ししました。しかし、私は絶対に諦めません。

今回の選挙できのせ明子へ投じて頂いた22,777票は党派・世代を超えた「安倍政治退場をあきらめない」市民のみなさんの意思表示です。この皆さんと力を合わせれば、国政も県政も変えることができるかと確信し、来年の春に向けて頑張ります。



ご意見・ご要望はこちらまで

発行：日本共産党滋賀県委員会

大津市昭和町4-8

TEL:077-522-8210 FAX:077-522-8282

